

報道資料

函 環 推

令和4年(2022年)11月24日

報道機関 各 位

函館市環境部環境推進課長

食品ロス実態調査結果に係る報道について（依頼）

このことについて、下記のとおり令和4年度（2022年度）「食品ロス実態調査」の結果を取りまとめましたので報道について、よろしく願います。

記

1 実施日

令和4年（2022年）10月6日（木）

2 実施場所

函館市日乃出町26番2号 函館市日乃出清掃工場

3 調査概要・調査結果等

令和4年度(2022年度)食品ロス実態調査結果のとおり

函館市環境部環境推進課
廃棄物処理計画担当：高橋・野口
TEL 56-6694
FAX 51-3498

令和4年度(2022年度)食品ロス実態調査結果

1 業務名

食品ロス実態調査

2 調査対象物

ごみ組成分析調査対象物である「燃やせるごみ」試料中の食品廃棄物等(厨芥類)

3 実施日

令和4年(2022年)10月6日(木)

4 実施場所

函館市日乃出清掃工場

5 調査の概要

(1) 調査方法

ごみ組成分析調査における試料約200kgから分類された食品廃棄物等(厨芥類)を対象に、下記の手順により食品ロスの調査を行った。

ア 食品廃棄物等(厨芥類)を「調理くず」、「直接廃棄(手付かず食品)」、「食べ残し」、「その他」に分類し、分類項目ごとに計量。

イ このうち、「直接廃棄(手付かず食品)」については、さらに期限表示別に分類して計量。

(2) 調査分類

食品廃棄物等(厨芥類)は、以下の種類にて分類した。

	分類	概要	具体例
	①調理くず	調理過程から排出された不可食部	野菜・果物の皮、くず、芯、魚の骨・内臓、エビの殻、貝の殻、動物の骨、卵の殻、出汁用の昆布など
食品ロス	②直接廃棄(手付かず食品)	購入後全く手が付けられずに捨てられたもの	野菜、果物、卵、魚介類、肉類、パン類、菓子類、麺類、缶詰、瓶詰め、大豆製品(納豆、豆腐)、乳製品(ヨーグルト)、調味料(マヨネーズ、ソース)など
	③食べ残し	調理され、または生のまま食卓にのぼったもの	ご飯、パン、麺類、おかず、開封後の弁当、開封後の総菜など
	④その他	生ごみとともに排出され易く、上記に分類されないもの	コーヒー、茶殻、ペットフードなど

6 調査結果

本調査については、令和2年度以来、2度目の実施である。

本調査の結果、家庭系可燃ごみ全体に占める食品ロスの重量比については、令和2年度調査の8.94%と比較し、今回調査では9.65%とわずかに上昇した。この主な要因としては、家庭系可燃ごみに占める食品廃棄物等（厨芥類）の割合が24.53%から40.25%へ上昇したことに伴うものと考えられるが、過去の推移から、今年度の割合は例年並みと言える。

また、本調査結果から令和3年度の本市の家庭系可燃ごみ排出量を基に推計したところ、本市の食品ロス発生量は年間4,343t、家庭系食品ロス原単位（1人1日当たり食品ロス発生量）は約47.6g、年間ベースでは、1人当たり約17kg、1世帯当たり約31kgとなり、前回調査と比べ、家庭系食品ロス原単位は微増であった。

このほか、直接廃棄のうちの期限表示別の割合については、賞味期限内廃棄が前回調査の21.15%から1.80%へと大幅に低くなった一方、賞味期限切れ廃棄は18.64%から29.36%へと高くなった。

家庭系可燃ごみ全体に占める「食品ロス」の割合は上昇した一方、食品廃棄物等（厨芥類）に占める食品ロスの割合が36.47%から23.98%へ低下したことは、食品ロス削減に対する市民の意識の高まりがうかがわれるが、期限内に食べれば廃棄せずに済む消費・賞味期限切れの直接廃棄は、依然として一定程度存在するため、冷蔵庫の整理整頓等の啓発や、家庭で余っている食品を集め、食品を必要としている方へ寄付する「フードドライブ」など、食品ロス削減に向けた取組を引き続き推進する。

7 参考

〈調査実施時の写真〉



直接廃棄



食べ残し

〈食品ロス実態調査結果および本市推計量の推移〉

区分			R 2 (割合)	R 4 (割合)	
調査結果	可燃ごみに占める食品廃棄物等		24.53%	40.25%	
	食品廃棄物等	食品ロス	直接廃棄	13.51%	8.64%
			うち消費期限内	0.00%	0.00%
			うち消費期限切れ	10.16%	7.44%
			うち賞味期限内	21.15%	1.80%
			うち賞味期限切れ	18.64%	29.36%
			うち表示なし	50.05%	61.40%
			食べ残し	22.96%	15.34%
	合計		36.47%	23.98%	
	調理くず		59.14%	71.65%	
その他		4.39%	4.37%		
可燃ごみに占める食品ロス (可燃ごみに占める食品廃棄物等の割合 ×食品廃棄物等に占める食品ロスの割合)			8.94%	9.65%	
区分			R 2	R 4	
			R 2実績	R 3実績(仮推計)	
本市推計量	食品ロス量		4,081 t	4,343 t	
	うち直接廃棄		1,512 t	1,565 t	
	うち消費期限内		0 t	0 t	
	うち消費期限切れ		153 t	116 t	
	うち賞味期限内		320 t	28 t	
	うち賞味期限切れ		282 t	460 t	
	うち表示なし		757 t	961 t	
	うち食べ残し		2,569 t	2,778 t	
	1人1日当たり		44.1 g/人・日	47.6 g/人・日	
	うち直接廃棄		16.3 g/人・日	17.2 g/人・日	
	うち食べ残し		27.8 g/人・日	30.4 g/人・日	
	年間1人当たり		16 kg	17 kg	
	年間1世帯当たり		30 kg	31 kg	

※調査結果割合については、重量ベース

※本市のR 4推計量については、調査時点において、把握している最新の年間ごみ排出量は前年度実績となることから、R 4調査結果割合×R 3ごみ排出量実績は仮推計である。(食品ロス実態調査時公表推計値)